

<霊的備え>

わがたましいよ なぜ おまえはうなだれているのか。なぜ 私のうちで思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。私の救い 私の神を。 (詩篇 42:11)

<理解の手引き>

ここで主は、もう一度契約の再確認をされました。その時、アブラハムは 99 歳になっており、カナンに入国してから、すでに 24 年の歳月が流れていました。

「全能の神」(1 節)：ヘブル語「エル・シャダイ」これは力を意味すると共に祝福を注ぎ出す方という意味があります。

「わたしの前に歩み、全き者であれ」(1 節)：主の前に歩むということは、いつも主の御顔を意識し、主の御臨在のうちに生活するということ。つまり、すべてのことを主との関係の内にとらえて生きるということです。このような主との関係の中で「全き者であれ」ということは、道徳的に完全な人間になれということではなく、神との関係における健全さ、完全さを意味しています。

「アブラム」(5 節)：「高貴なる父、高められた父」という意味があります。

「アブラハム」(5 節)：「多くの国民の父」という意味があります。

この改名は、アブラハムが新しい出発点に立ったことを意味しています。

<考えてみよう>

(観察) 神がアブラハムと結ばれた契約は、どのようなものですか？

.....
.....
.....

(解釈) 再度の契約の確認は、子どものいないアブラハムにとってどんな意味がありますか？

.....
.....
.....

(適用) この契約を信じることは、彼にとってどんな心の葛藤があったことでしょうか。ここから、信仰について何を学びますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....